

人間総合科学研究科 体育学専攻(博士前期課程) スポーツ文化・経営政策コース

コース		スポーツ文化・経営政策コース		
科目区分	科目群		条件・科目名	修得単位数
専門科目	領域科目		所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修	6~8
専門基礎科目	コース科目	基礎科目群		5~
		応用科目群	スポーツ文化・経営政策コース共通実習(1単位) 必修	7~
専門基礎科目	研究基礎科目		所属分野の研究方法論(1単位) 必修	1~6
基礎科目	自由科目		所属領域外の科目、所属コース外の科目、所属コース科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 専攻外の科目、大学院共通科目、指定の学群科目	0~6
			修了単位数	30~
<p><備考></p> <p>各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、コース科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。</p> <p>コース科目の各科目群の対象科目については、体育学専攻教育課程(シラバス)を参照のこと。</p> <p>社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。</p> <p>◎14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習</p> <p>なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。</p>				
<p><修了要件></p> <p>標準修業年限(2年)以上在学すること。 上記表に基づき30単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>				

人間総合科学研究科 体育学専攻(博士前期課程) 健康・スポーツ教育コース

コース		健康・スポーツ教育コース		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	コース科目	基礎科目群	4～	12～17
		応用科目群	7～	
		関連科目群	1～	
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属コース外の科目、所属コース科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 専攻外の科目、大学院共通科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～
<p><備考></p> <p>各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、コース科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。</p> <p>コース科目の各科目群の対象科目については、体育学専攻教育課程(シラバス)を参照のこと。</p> <p>社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。</p> <p>◎14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習</p> <p>なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。</p>				
<p><修了要件></p> <p>標準修業年限(2年)以上在学すること。 上記表に基づき30単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>				

人間総合科学研究科 体育学専攻(博士前期課程) ヘルスフィットネスコース

コース		ヘルスフィットネスコース		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習 I および II を含む全科目 必修		6~8
専門基礎科目	コース科目	基礎科目群		5~
		応用科目群	実験または実習科目(2単位) 選択必修	3~
			基礎ヘルスフィットネス演習、またはヘルスフィットネスコースインターンシップ(1単位) 選択必修	
関連科目群		4~		
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1~6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属コース外の科目、所属コース科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 専攻外の科目、大学院共通科目、指定の学群科目		0~6
		修了単位数		30~
<p><備考></p> <p>各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、コース科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。</p> <p>コース科目の各科目群の対象科目については、体育学専攻教育課程(シラバス)を参照のこと。</p> <p>社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習 II の代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。</p> <p>◎14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習</p> <p>なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。</p>				
<p><修了要件></p> <p>標準修業年限(2年)以上在学すること。</p> <p>上記表に基づき30単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>				

人間総合科学研究科 体育学専攻(博士前期課程) アスレティックコンディショニングコース

コース		アスレティックコンディショニングコース		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	コース科目	基礎科目群	3～	12.5～17
	応用科目群	アスレティックコンディショニングコースインターンシップ(1単位) 必修	7.5～	
	関連科目群	2～		
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属コース外の科目、所属コース科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 専攻外の科目、大学院共通科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～
<p><備考></p> <p>各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、コース科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。</p> <p>コース科目の各科目群の対象科目については、体育学専攻教育課程(シラバス)を参照のこと。</p> <p>社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。</p> <p>◎14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習</p> <p>なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。</p>				
<p><修了要件></p> <p>標準修業年限(2年)以上在学すること。 上記表に基づき30単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>				

人間総合科学研究科 体育学専攻(博士前期課程) コーチングコース

コース		コーチングコース		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	コース科目	基礎科目群	トレーニング学(2単位) 必修 コーチング論(事例討議)(1単位) 必修	6～
		応用科目群	◎コーチング個別科目群 種目別コーチング総合演習(1単位) 選択必修 コーチングコースインターンシップ(1単位) 必修	2～
		◎関連マネジメント科目群	2～	
		関連科目群	3～	
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属コース外の科目、 所属コース科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 専攻外の科目、大学院共通科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～
<p><備考></p> <p>各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、コース科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。</p> <p>コース科目の各科目群の対象科目については、体育学専攻教育課程(シラバス)を参照のこと。</p> <p>社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。</p> <p>◎14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習</p> <p>なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。</p>				
<p><修了要件></p> <p>標準修業年限(2年)以上在学すること。</p> <p>上記表に基づき30単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>				